

る

らる

【活用】

らる	る	基本形
られ	れ	未然形
られ	れ	連用形
らる	る	終止形
らるる	るる	連体形
らるれ	るれ	已然形
られよ	れよ	命令形
段下 型二	段下 型二	活用の型

【接続】

「る」…… 四段・ナ変・ラ変動詞の**未然形**「らる」… 四段・ナ変・ラ変以外の動詞の**未然形**

る

らる

【意味】

(1) 受身 へ…レル…ラレル

① 軒近き荻のいみじく風に吹かれて、砕けまどふが、

軒近くの荻が激しく風に吹かれて、砕け散るのが、

② ありがたきもの、舅にほめらるる婿。

めったにないもの、舅にほめられる婿。

(2) 尊敬 へ…レル…ラレル…ナサル・

オ…ニナル

③ かの大納言、いづれの船にか乗らるべき。

あの大納言は、どの船にお乗りになるだろうか。

る

らる

【意味】

(3) 自発

へ(自然ト) ∷レル ∷セズニハイラレナイ

④住みなれしふるさとかぎりなく思ひ出でらる。

住み慣れたもとの家がこの上なくなつかしく思い出される。

(4) 可能

へ ∷デキル

⑤家の造りやうは、夏を旨とすべし。冬はいかなる所にも住まる。

家の造り方は、夏を主とするのがよい。冬はどのような所にも住むことができる。

⑥恐ろしくて寝もねられず。

恐ろしくて寝ることもできない。

る

らる

【「る」「らる」意味の判別法の原則】

(1) る・らる + 打消・反語

↓
可能

(2) 敬語動詞 + る・らる

↓
尊敬

(3) る・らる + 給ふ

↓
受身・自発

(4) 知覚・心情を表す動詞 + る・らる

↓
自発

(5) …に…る・らる

↓
受身